

肺MAC症Update ケースから学ぶ肺MAC症の診断と治療 -診断編-

総合
座長

独立行政法人国立病院機構東名古屋病院 副院長

中川 拓 先生

イントロ
ダクション

「2024指針改訂の背景とポイント～肺MAC症」

独立行政法人国立病院機構東名古屋病院 副院長 **中川 拓 先生**

講演

ケース1：「早期の治療開始に抗MAC抗体陽性を活用すべき例」

独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院 統括診療部長・呼吸器センター呼吸器内科 **長井 桂 先生**

ケース2：「胃液検体を用いた診断の有用性」

大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任助教 **福島 清春 先生**

日時

2025年2月13日(木) 19:00～20:10

本Webセミナーは追いかけて再生に対応しております。
Webセミナー終了前までに視聴を開始されると、追いかけて再生による視聴が可能です。

視聴方法

詳しくは裏面をご確認ください。

NTMnavi (NTM症に関する医療従事者向け情報サイト) <https://www.ntmnavi.jp/>



主催：インスメッド合同会社メディカルアフェアーズ部

次回は3/25 (火) 19:00より気管支拡張症関連について開催予定です。

概要

肺MAC症Update ケースから学ぶ肺MAC症の診断と治療-診断編-

2023年には日本結核・非結核性抗酸菌症学会／日本呼吸器学会から、成人肺非結核性抗酸菌症化学療法に関する見解—2023年改訂が発出され、NTM治療に関してUpdateされた。一方で診断に関しては、2008年肺非結核性抗酸菌症診断指針が前提になっていた。しかし、2024年11月に新たに、診断指針が改訂された（肺非結核性抗酸菌症診断に関する指針—2024年改訂）。この指針では、暫定基準として、日本でエビデンスが構築された *Mycobacterium avium complex* (MAC) の細胞壁成分であるGlycopeptidolipid (GPL) を抗原とするIgA抗体を評価する血清診断法や胃液培養検査の記載がなされている。本セミナーにおいては、新しい診断指針を解説し、あらたに暫定基準として記載されたこれらの診断法を活用する工夫や留意点を症例を通じて議論し解説する予定である。

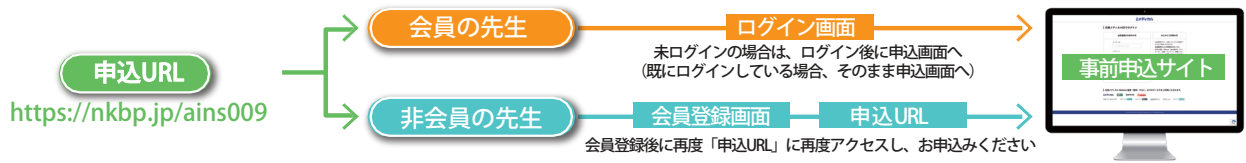
ご視聴方法

本Web講演会は「日経メディカルOnline」でご視聴いただけます（登録・視聴無料）

申込URL <https://nkbp.jp/ains009>

ログイン（会員登録）後、上記のURLから事前に視聴のご予約をお願いいたします。

※お申込みは1月30日（木）10時から可能です。
※事前にご予約いただかないと視聴できませんのでご注意ください。
※会員登録に時間がかかる場合がございますので、開催の1週間前を目安にご登録をお願いいたします。
※ご視聴は医師会員に限定させていただいております。



日経メディカル Online会員以外の先生はこちらからご視聴ください

1 視聴ページへのアクセス

ブラウザを起動して、アドレスバーに下記のURLをご入力、もしくは二次元バーコードを読み取ってアクセスください。



<https://re.m3dc.live/insmed20250213>
ID: insmed パスワード: 20250213

2 Web講演会の本番視聴



- 1 視聴URLにアクセスします。
- 2 情報入力を行い「視聴する」ボタンを押下してください。
- 3 視聴画面の「再生」ボタンをクリックします。

補足: 事前視聴確認 Web講演会の前日までに、当日と同じ視聴環境で必ず事前視聴確認を行ってください。

情報入力ページにアクセスし「視聴環境確認」をクリックしてください。速度チェック及び視聴チェックを実施し、不具合がないかご確認ください。

サポート窓口 050-3186-4559 9:00~21:00 (平日)

※ 本番当日はWeb講演会終了までサポートします